



OSAKA UNIVERSITY  
OF ECONOMICS AND LAW  
大阪経済法科大学

# LIBERA

volume  
**72**  
2008



特集

## 世界との連携が、 未来を支える。

第5回東アジア学国際学術シンポジウムにて  
(2008年9月21・22日開催、於 大阪国際交流センター)

写真右から、

国際教養大学 C.Kenneth Quinones 教授

ハワイ大学 Edward J.Shultz 教授

ロシア科学アカデミー東洋学研究所 Vorontsov Alexander 氏



# 世界との連携が、 未来を支える。

特集

米国住宅バブルの崩壊に端を発し、米国証券大手、リーマンブラザーズの経営破綻によって加速された金融危機が、世界経済を激震させています。本年7月に開催された洞爺湖サミット(主要国首脳会議)では、世界経済、温暖化防止、食料危機、アジアでの核開発問題など地球的危機が広く取り上げられましたが、その危機は一層深刻さを増しています。

大阪経済法科大学は、「建学の理念に基づいて、広く知識を授け、深く専門の学芸を教授研究とともに、豊かな人間性と国際感覚にあふれた独創的で実践力に富む人材を育成し、もって社会の発展と平和に貢献する」との大学の使命に基づき、北京大学・復旦大学・ハワイ大学・ロンドン大学・崇実大学校をはじめ世界38大学・研究機関と提携し、このような危機に向き合い、解決を模索する国際的なネットワークを形成してきました。今回の特集では、本年実施した東アジア学国際学術シンポジウムと日中韓三カ国姉妹校学生交流セミナーを取り上げ、本学の国際交流事業の意義と成果について紹介します。



大阪経済法科大学学報[リベラ]

LIBERA  
volume72/2008



2008年10月30日発行  
【編集】  
大阪経済法科大学事務局庶務課  
〒581-8511  
大阪府八尾市楽音寺6丁目10番  
TEL072-941-8211  
FAX072-941-4426

<http://www.keiho-u.ac.jp/>  
【今月の表紙】  
第5回東アジア学  
国際学術シンポジウム基調講演を  
傾聴する研究者



CONTENTS

### 3 特集

# 世界との 連携が、 未来を支える。

第5回東アジア学国際学術シンポジウム

「21世紀の東アジアー平和・安定・共生ー」

第2回日中韓三カ国姉妹校学生交流セミナー



9 [スチューデントパワー student power]  
団碁部1部昇格

八尾市吹奏楽フェスティバル、文化博覧会  
2008年度 各種資格・検定試験合格者 他



11 [経法タイムス]  
2008年度 春学期末卒業式、大阪中学生サマー・セミナー

八尾市民無料法律相談、地域IT講習会 他



14 2007年度 大学決算・事業報告

17 教育後援会・校友会だより

19 [国際交流通信]  
ハワイ大学マノア校との交流拡大、  
海外フィールドスタディー 他



21 [キャリアアップステーション]  
就職展望、2008年度就職内定状況  
インターンシップ報告 他

24 [元気いっぱい! 躍動する経法生]  
岡本 香菜子さん(法学部・4年生)

# 第5回東アジア学国際学術シンポジウム

## 「21世紀の東アジア—平和・安定・共生—」を開催

世界人口の3分の1を擁し、近年めざましい経済発展を遂げる東アジアに、世界の注目が集まるようになって久しい。この発展を今後も持続可能なものとするため、東アジア地域の研究を主導する国際的学術ネットワークの形成をめざして、9月21日(日)・22日(月)の二日間にわたり第5回東アジア学国際学術シンポジウム「21世紀の東アジア—平和・安定・共生—」(主催：本学アジア研究所、北京大学東亞学研究センター、協賛：ベトナム社会科学院北東アジア研究所、タイ・チエブロン・コン大学アジア研究所、後援：外務省、朝日新聞社、大阪府、大阪市、八尾市、国連大学)を、13カ国から50名以上の研究者を迎えて、大阪市上本町にある大阪国際交流センターにて開催した。

藤本和貴夫(大阪経済法科大学学長)が開会式で基調講演が、同志社大学教授・現代アジア研究センター長の阿部茂行氏、マレーシア戦略国際問題研究所(I-S-I-S)事務局長のマハニ・ザイナル・アビディン氏(写真左)、ソウル大学教授であり、韓国・元外交通商部長官の尹永寛氏の3名の研究者によって行われた。

阿部茂行氏による「アジア経済統合のゆくえ—競合かそれとも補完か?」と題する講演では、アジア経済の一般的な問題点と全体像が描き出され、日本、

藤本和貴夫(大阪経済法科大学学長)

## 基調講演 東アジアの地域統合の問題点と展望 —包括的なフレームワークを求めて—

9月21日開会式に引き続き、

基調講演が、同志社大学教授・

現代アジア研究センター長の阿部茂行氏、マレーシア戦略国際問題研究所(I-S-I-S)事務局長のマハニ・ザイナル・アビディン氏(写真左)、ソウル大学教授であり、韓国・元外交通商部長官の尹永寛氏の3名の研究者によ

りて行われた。

阿部茂行氏による「アジア経済統合のゆくえ—競合かそれとも補完か?」と題する講演では、アジア経済の一般的な問題点と全体像が描き出され、日本、

スと投資の分野にまで経済統合を拡大させたASEANの一

現実主義、機能主義の観点から論じた。

続いて、マハニ・ザイナル・アビディン氏により、「ASEAN統合の次の段階—サービス貿易の自由化」と題して、ASEAN自由貿易協定(AFTA)について端緒が開かれたASEAN地域の経済統合の歴史と現状が解説された。

その主なものとして、サービ

スと投資の分野にまで経済統

合を拡大させたASEANの一

現実主義、機能主義の観点から論じた。

## 東アジアの経済、政策、環境問題、人的交流など、平和・安定・共生―を支える条件を多角的に討議



## 東アジアの未来に向けて、13カ国から研究者が結集

現在、東アジアにおける国際関係は、平和と安全保障をめぐる葛藤から、国際移住によって引き起こされる対立に至るまで、多くの不安定要因を抱えている。また、今年7月に開催された北海道洞爺湖サミットで環境問題が主要テーマとして取り上げられているように、地球

環境の保全は、国や地域を超えた協力によってのみ達成される。そこで今回のシンポジウムでは、このような現実に立脚した新しい東アジア像の提示に向けた積極的な議論の場とするため、「21世紀の東アジア—平和・安定・共生—」を総合的なテーマとした。

写真中央・郭定平(復旦大学教授)



特集 世界との連携が、未来を支える。



特集 世界との連携が、未来を支える。●4

郝斌(北京大学東亞学研究センター所長)

●4

## 第2回日中韓三カ国姉妹校学生交流セミナー

## 三ヵ国学生が研究成果をプレゼンテーション、「持続可能な発展と環境問題」について多面的に考察

8月21日(木)から29日(金)  
までの9日間(ソウル8/21  
8/25、大阪8/25~8/29)  
にわたりて、本学と姉妹校である中国・復旦大学・韓国・崇実  
大学校との共催で、日中韓三力  
国姉妹校学生交流セミナーを  
開催した。



共に学び、議論した9日間

8月21日～25日までの韓国  
八公系教授からの基調講演「Sustainable Development From (Old) Generation to (New) Generation, In China, Korea, and Japan (持続可能な発展—世代から世代へ、中国・韓国・日本へ)」を開催した。

「復興」をテーマに、大震災から目覚しい復興を遂げた神戸の街でフィールドワークを行い、「阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター」などを見学した。さらに同日夜には、韓国・中国の参加者が本学学生の家庭にホームステイし、親交を深めた。

この日中韓三カ国姉妹校学  
生交流セミナーは、本学と韓国・  
崇実大学校の2校で、1995

年から毎年、日韓文互で開催されてきたセミナーを発展させたもので、地域住民との交流や日本からの学生同士が寝食を共にしながら学習・交流を行い、相互理解を深めることを目的として実施してきた。そして、昨年からは、本学協定校のひとつである中国・復旦大学を新たに加え、3校による共催となつた。

2回目となる今年の三カ国姉妹校学生交流セミナーは、「地球の未来を語ろう—持続可能な発展と環境問題—」をテーマとして、3校からそれぞ

計30名の学生が参加して行われた。「大学では学ぶことのできない視点から、現代の社会制度のあり方へのアプローチを試みる」という従来からの目的に沿って、世界規模で注目を集め環境問題について、ゲスト・スピーカーによる講演会を開催し、大阪・神戸・京都―三都市でのフィールドワークなどを実施していく。

## 各国の環境問題解決に向けた提言を発表 活発な議論を展開

27日は、フィールドワークとして京都の金閣寺・嵐山・八坂神社・清水寺などをめぐり、本学の学生が日本の文化・歴史などを紹介した。同日夕方から、前日の武者例紹介、③1970年代2度にわたる石油危機の教訓に学ぶ環境危機への警鐘④不法投棄が行っている野球用具のリサイクル・ビジネスなど、スポーツを通じた環境問題への取組の事例紹介、⑤1970年代2度にわたる石油危機の教訓に学ぶ環境危機への警鐘⑥不法投棄

A photograph showing a group of approximately ten people seated around a large, curved wooden conference table. They are all dressed in professional attire, such as suits and blouses. The room has light-colored walls and ceiling, with a large vertical Japanese calligraphy piece on the left wall and a small painting above the table. The atmosphere appears formal and focused.

小路教授の基調講演を受ける形で、国際環境情報センターの星野智子氏の指導の下、環境問題について、学生によるプレゼンテーションとグループ・ディスカッションが行われた。

による日本のシンボル・富士山のごみ問題の現状と解決への提言(5)CO<sub>2</sub>の増加を食い止める自然や生態系の保全の取組など5つのテーマを取り上げ、環境問題について多面的に考察するとともに、持続可能な社会の在り方について独自の提案を含めてブンゼンテーション

の石川絶景美術館にて、  
ノモンヒテ行つて。  
ンすることになつて  
おり、韓国プログラ  
ムでは崇実大学校  
の学生が、大阪プロ  
グラムでは本学の  
学生が、環境問題に  
ついてプレゼンテー

また、ナビゲーターの星野智子氏は、1996年に環境省と国際連合大学の共同事業として設立され持続可能な社会の実現に向けての取り組むNPO・NGOと行政や企業との協働

シミツを行なう  
本学の学生は、①  
リサイクルを活用し  
た持続可能な社会  
モデルとしての江戸川  
時代の研究、②日本  
のプロ野球・東北楽  
天イーグルス球団

トナーシッププラザ」の日本での活動などについて紹介した。最後に、現在の環境問題についての解決策を、各国2名ずつ6名で1グループに分かれてディスカッションし、それぞれのグループで「GEICO（地球環境パートナーシップ）」を目標としている。

# 特集 世界との連携が、 未来を支える。

が、八尾市文化会館ブリズムホールで開催された。

7月11日(金)・12日(土)の二日間、2008年度文化博覧会「文化会系クラブによるイベント「文化博覧会」を開催



感謝状を受け取る保積さん

### 本学学生に守山警察署長から感謝状が贈呈

6月1・7・8日の三日間、関西学生団体連盟主催の春季二部リーグが開催され、本学団体連盟が、6戦全勝の好成績で優勝し、一部リーグ昇格の切符を手にした。団体連盟の一部リーグ昇格は、2002年以来6年ぶり2度目となり、秋から始まる一部リーグでのさらなる活躍が期待される。

### 本学団体連盟関西学生団体連盟春季リーグ全勝優勝で一部昇格

生・保積克哉さんに感謝状が贈呈された。これは、5月27日にJR湖西線の上り普通電車内で発生した、滋賀県迷惑行為等防止条例違反事件（痴漢行為）の犯人を現場で取り押さえたとして、その勇気ある行動に対して贈られたものである。

保積さんは、現在、滋賀県の青少年キャンプ活動をサポートするボランティアなどにも積極的に参加しており、「同年代の人々が困っているのを見過ごすことができなかつた」と當時の心境を語った。

### 八尾市吹奏楽フェスティバルに本学吹奏楽部が出演

7月20日(日)、第21回八尾市吹奏楽フェスティバルが、八尾市文化会館ブリズムホールで開催され、本学吹奏楽部が演奏を繰り広げる、地元八尾市で歴史ある一大イベントとなっている。



### 本学学生に守山警察署長から感謝状が贈呈

6月1・7・8日の三日間、関西学生団体連盟主催の春季二部リーグが開催され、本学団体連盟が、6戦全勝の好成績で優勝し、一部リーグ昇格の切符を手にした。団体連盟の一部リーグ昇格は、2002年以来6年ぶり2度目となり、秋から始まる一部リーグでのさらなる活躍が期待される。

### 本学団体連盟関西学生団体連盟春季リーグ全勝優勝で一部昇格

生・保積克哉さんに感謝状が贈呈された。これは、5月27日にJR湖西線の上り普通電車内で発生した、滋賀県迷惑行為等防止条例違反事件（痴漢行為）の犯人を現場で取り押さえたとして、その勇気ある行動に対して贈られたものである。

保積さんは、現在、滋賀県の青少年キャンプ活動をサポートするボランティアなどにも積極的に参加しており、「同年代の人々が困っているのを見過ごすことができなかつた」と當時の心境を語った。

### 本学学生に守山警察署長から感謝状が贈呈

6月23日(月)、滋賀県警守山警察署長から、経済学部3年生・保積克哉さんに感謝状が贈呈された。これは、5月27日にJR湖西線の上り普通電車内で発生した、滋賀県迷惑行為等防止条例違反事件（痴漢行為）の犯人を現場で取り押さえたとして、その勇気ある行動に対して贈られたものである。

保積さんは、現在、滋賀県の青少年キャンプ活動をサポートするボランティアなどにも積極的に参加しており、「同年代の人々が困っているのを見過ごすことができなかつた」と當時の心境を語った。

## 特集 世界との連携が、未来を支える。

### 忘れられない夏の思い出になりました。

#### 末澤美佳さん (大阪経済法科大学 法学部3年生)

今回の三ヵ国セミナーでは、各国の学生から“環境問題”について発表があり、様々な角度から見た、環境問題を学ぶことができました。中国や韓国の学生の発表は、大きなテーマをそれぞれが分担し、身近にある問題に焦点を当てた、とても興味深い内容のものでした。また、私たち、大阪経済法科大学の発表も、どこにも負けないチームワークとユーモアのある内容であったと思います。

それぞれの国の学生によって、感じ方は違うかもしれません、私にとっては忘れられない夏の思い出になりました。



手作りの陶器を手に記念撮影  
写真中央が末澤さん

### 9日間のプログラムで、たくさんのこと学びました。

#### Jeon In Seonさん (韓国／崇実大学校 法学部4年生)

韓国プログラムの初日、各國の学生たちに会うまでは、言葉は通じるだろうか、韓国のこととは好きだろうかと色々と不安を抱えていましたが、実際に会ってみると、私たち韓国の大学生と何ら変わらない、好奇心旺盛で活発な学生たちの姿がありました。特にショッピングが好きな、復旦大学の女子学生たちと一緒に、明洞(ソウルの中心街)で買い物をしたこと

が印象に残っています。

また、日本のプログラムでは、京都の寺院や神戸の「人と防災未来センター」見学など、充実したプログラムが準備され、貴重な経験をすることができました。

今回のプログラムでは、異文化を知り、また同世代の異国的学生たちが何を考えているのかを知るいい機会になりました。



前列右端が魏さん、2列目左から2人目Jeonさん、3人目末澤さん

### 学生同士の交流が、アジアの未来を担うと確信しています。

#### 魏 沁茹さん (中国／復旦大学 国際政治学部3年生)

アジアで中心的な役割を担う、中国、日本、韓国の三ヵ国で交流できる貴重な機会と考え、今回のセミナーに参加しました。また、アジアの今後の発展を考えたときに、アジアの未来を担う学生たちが、お互いの考えを知り、交流する意義はとても大きいと思います。このセミナーでは、韓国や日本の学生たちと打ち解けた話をることができ、自分にとって本当によい経験になったと思います。

私自身は、日本のマンガを読んで日本が好きになり、日本に行きたいと思うようになりました。大学卒業後は、日本の大学院に留学して、日本の歴史と政治を勉強したいと考えています。

経法タイムス

Kreisho Times

今年も地域貢献の一環として、市民無料法律相談を開催

月刊文化 道鏡 1月號

ホー<sup>ル</sup>で、八尾市民を対象とした市民無料法律相談が開

今年で3回目の開催となる  
催された。

市民無料法律相談は、本学法  
学部と法学会の共催で行わ

れた。また、この取組は、地域・社会に貢献するとともに、教

員、学生が生きた法律問題に直面することで、本学法学教

育と研究の発展に資することを目的に実施されてきた。

当日は、あいにくの雨模様

者が会場に訪れ、25件の相談  
(民事関係全般)が寄せられた。

前田春樹法律事務所へ相談を担当した前田春樹弁護士(元大阪弁護士会副会長)は、本学教員は、「ひとつの相談に的確で丁寧なアドバイ



春学期末卒業式を挙行  
20名の卒業生が  
社会へ果立つ

スを行つた。また、相談に陪席した学生スタッフたちも、学校での講義では決して味わうことのできない貴重な経験をすることができた。

# 春学期末卒業式を挙行 20名の卒業生が 社会へ果立つ

# 「大阪中学生サマー セミナー」を開催 大津事件を学ぶ

卒業を迎えた20名の卒業生が、今後厳しい社会の中で、本学で学んだことを礎に活躍されることを期待したい。

8月30日(土)・31日(日)の二日間にかけて、「平成20年度大阪中学生サマー・セミナー」(大阪コンソーシアム大阪・南大阪地域大学コンソーシアム他主催)



が開催され、本学担当講座に大阪府下14の中学校から15名の中学生が参加した。今回、本学が担当する講座は、「なぜ警官は剣(サーベル)を抜いたか—大津事件・百年前のミステリー」(講師・岩村等法学部教授／法学部長)というテーマで開講され、1891年(明治24)5月、大津で遊事件について学習が行われた。

速報

## 2008年度 法科大学院・大学院／公務員／各種資格・検定試験合格者速報 (2008年10月15日現在)

## 【法科大学院・大学院】

- 関西学院大学法科大学院(既修者1名・未修者2名)
  - 関西大学法科大学院(未修者2名)
  - 近畿大学法科大学院(未修者1名)
  - 甲南大学法科大学院(既修者1名・未修者1名)
  - 龍谷大学法科大学院(未修者1名)
  - 東北学院大学法科大学院(未修者1名)
  - 兵庫県立大学大学院会計研究科会計専門職専攻(修士課程)1名
  - 甲南大学大学院ビジネス研究科会計専攻(修士課程)1名

【公務員】

- 國家公務員II種(徳島労働局・1名)
  - 奈良県警(2名)
  - 大阪市消防局(1名)
  - 滋賀県警(1名)
  - 東京消防庁(2名)
  - 徳島県警(1名)
  - 兵庫県三木市職員採用試験(消防職・1名)
  - 香川県警(1名)
  - 京都府警(1名)
  - 自衛隊(幹部候補生・1名)

合格者総数:287名

## 2008年度前期課外活動戰績

クラブ名	大会名	戦績
卓球部	関西学生卓球新人大会  関西学生卓球選手権大会 関西学生卓球連盟男子・女子一部春季リーグ  全日本大学対抗卓球選手権大会	【団体】男子:3位、女子:優勝 【個人】 男子:ベスト8 佐々木健次郎(経済2年) 女子:優勝 下之段志保(経済2年) 【シングルス】男子:ベスト8 寺戸一樹(経済3年) 男子:4勝3敗 4位(8チーム中) 女子:4勝3敗 4位(8チーム中) 男子・女子:ベスト16
テコンドー部	全日本テコンドー選手権大会(西日本地区大会)  ジャパンW.A.T.A.オープン選手権大会  世界学生テコンドー選手権大会(選考会)	男子ミドル級 中澤度栄(経済1年) 女子バンタム級3位 松井綾菜(経済1年) 男子ウェルター級3位 木挽隆宏(経済4年) 女子バンタム級3位 松井綾菜(経済1年) 女子フライ級優勝 木下菜摘(経済2年)
ソフトボール部	関西学生ソフトボール春季リーグ 西日本大学ソフトボール選手権大会	1部リーグ 2勝3敗 4位(6チーム中) ベスト16
サッカー部	関西学生サッカー連盟春季リーグ	2部リーグBブロック 2勝7敗 9位(10チーム中)
空手道部	関西学生空手道個人選手権大会  西日本大学空手道選手権大会	男子:ベスト8 大場隆弥(法3年)※優秀選手賞 女子:3位 梅木香奈(法2年) 男子組手:ベスト16 女子組手:ベスト8
バレー部	関西大学バレー部連盟春季リーグ	男子:2部リーグ 4勝3敗 4位(8チーム中) 女子:6部リーグ 1勝5敗 6位
硬式野球部	阪神大学野球連盟春季リーグ	3部リーグ 6勝6敗 4位(6チーム中)
軟式野球部	西都大学野球連盟春季リーグ	2部リーグ 5勝4敗 4位(10チーム中)
バスケットボール部	西日本学生バスケットボール選手権大会	3回戦進出
バドミントン部	関西学生バドミントン連盟春季リーグ	6部リーグ 0勝4敗 5位(5チーム中)
サンボ部	全日本サンボ選手権大会	エスパワール57kg 優勝 島崎 大(経済1年) エスパワール62kg 3位 中谷紀之(法3年)

Kreisho Times

## オープンキャンパス 2008、盛況のうちに終了

習)など、多彩なプログラムで行われた。

## 2008年度 地域IT講習会を実施



高校生に熱く語る森永卓郎氏

# 2008年度 地域IT講習会を実施

「d e 健康管理」など、バラエティに富んだコースが準備された。二日間、計4コースで実施された今回の講習会には、地域(八尾市・東大阪市)の方を中心多くの方に参加していただき、好評を得ることができた。

オープンキャンパス2008が、7月末から9月にかけて計4回開催され、高校生、受験生をはじめ多くの参加者が本学を訪れた。今年度のオープンキャンパスは、テレビのコメントーターなどで活躍している人気経済アナリストの森永卓郎氏を講師に迎え、「経済学でシアワセになる方法」と題した特別講演会や毎回好評を得ている在学生がキャンパス内を案内するキャンパスツアー、入学試験対策講座、おもしろ授業体験、クラブエキビジョン(公開練



7月27日(日)・8月31日(日)  
の二日間、6号館総合情報教育棟で、地域ＩＴ講習会が開催された。

改戦講演会を開催

7月9日(水)、東大阪市立楠根小学校で教諭を勤める日高崇史氏(2003年3月・経済学部卒業)を講師に迎え、教員志望学生を対象にした講演会「教師という職業について」が開催された。

講演では、教員を志した動機や教育現場での体験談、教師になるための心構えなどについて話が行われ、「いろんな子ども、いろんな大人がいるからこそ、いろんなことが学べて楽しい」という自身の教員としての基本スタンスを学生たちに語りかけていた。教職課程履修学生を中心に集まつた学生も、講師の熱心な話に真剣な表情で耳を傾けていた。

## 「大林素子杯」開催 15チームが熱戦を 繰り広げる

8月31日(日)、本学総合体育館で、「第1回大林素子杯 in 八尾CUP」が開催された。

八尾市内にある中学校の女子バレーボール部15チームが参加した。当日は、大林素子によるバレーボール教室も行わられ、真剣な表情で指導を受けた中学生の姿が印象的であった。

大会決勝は、高安中学校が龍華中学校との接戦を見事制



## 中学生に指導する大林素子さん

秋学期行事日程		
行事	日時／場所	
いきいき八尾環境フェスティバル2008	10月25日(土)／ 八尾市文化会館フリズムホール 10月26日(日)／本学キャンパス	体験コーナー:どんぐりの「らせんゴマ」 映画「アース」上映／朗読劇「キンタイくんのぼうけん」など 和太鼓演奏、展示・体験教室、フリーマーケット、ふれあい池でのニッポンバラナゴ保護活動など
第37回 経法祭 「エボルヴ(evolve) —進化する—」	11月7日(金)／本学キャンパス 11月8日(土)／本学キャンパス 11月9日(日)／本学キャンパス	【前夜祭】江州・河内音頭 【本 祭】音楽系クラブライブ、bingo大会、展示会、学術講演会、少年サッカー大会など 【本 祭】メインライブ「キマグレン」、アームレスリング・クイズ大会、女装コンテストなど
2008年度 法学部公開 シンポジウム	11月20日(木)／ 八尾市文化会館フリズムホール	テーマ「あらためて裁判員制度を考える」 基調報告:指宿 信(立命館大学法科大学院教授) 【講演者】伊賀賀一(弁護士)／山口健一(弁護士、本学法学部客員教授)



教育後援会・校友会だより

6月19日(日) 2008年度教育後援会総会及び父母懇談会が、本学キャンパスで開催され、多くの父母・保護者が出席された。

午前10時から開催された総会では、常本光男教育後援会会长の挨拶に続き、教育後援会顧問の藤本和貴夫学長、伴井敬司校友会会长から挨拶が行われ、その後、2008年度役員(案)、2007年度收支決算書(案)、2008年度収支予算書(案)が提案され、審議の上、満場一致で承認された。総会の最後は、教育後援会会长に選任された山田知子新会長から、就任の挨拶が行われ、「大学と教育後援会の連携をより深め、学生支援の充実を図つていただきたい。」と決意が語られた。



# 2008年度 教育後援会総会・ 父母懇談会を開催

(㈱ベネッセコーポレーション高  
校 大学生支援事業開発部西日本  
大学営業課課長)を拓き、「よりよ  
い就職(キャリア)選択のために一  
大学時代に取り組むべきこと」と  
と題した講演会が開催され、学生  
が希望の進路を実現するための支  
援や心構えなどが述べられた。講  
演会終了後は、毎年恒例となつた  
キャンパスランチ体験が実施され、  
出席者は吹奏楽部の演奏を聴きな  
がら、楽しげひとときを過ごされた。

2008年度 大阪経済法科大学教育後援会 収支予算書

2008年4月1日から2009年3月31日まで

◆収入の部				(単位:円)
項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
1.教育後援会費	13564,000	14,168,000	△ 604,000	
2.受取利息	6,731	2,520	4,211	
小計	13,570,731	14,170,520	△ 599,789	
前年度繰越金	8,389,450	8,197,248	192,202	
収入の部合計	21,960,181	22,367,768	△ 407,587	

2007年度 大阪経済法科大学教育後援会 収支決算書

2007年4月1日から2008年3月31日まで

◆収入の部				(単位:円)
項目	予算額	決算額	差異	備考
1.教育後援会費	14,168,000	14,356,000	△ 188,000	
2.受取利息	2,520	6,731	△ 4,211	
小計	14,170,520	14,362,731	△ 192,211	
前年度繰越金	8,197,248	8,197,248	0	
収入の部合計	22,367,768	22,559,979	△ 192,211	

## ◆支出の部

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考	項目	予算額	決算額	差異	備考
1.学生福祉費					1.学生福祉費				
(1)学習活動支援	700,000	700,000	0	資格取得支援教材購入等	(1)学習活動支援	700,000	522,458	177,542	資格取得支援教材購入等
(2)課外活動支援	1,400,000	2,600,000	△ 1,200,000	各クラブの備品購入等	(2)課外活動支援	2,600,000	2,080,135	519,865	各クラブの備品購入等
(3)学生行事支援	1,300,000	1,300,000	0	経法祭・卒業祝賀会等	(3)学生行事支援	1,300,000	1,000,000	300,000	経法祭等
(4)奨学金事業支援	8,320,000	8,320,000	0		(4)奨学金事業支援	8,320,000	7,520,000	800,000	
2.記念品費	1,400,000	1,500,000	△ 100,000	入学記念品及び卒業記念品	2.記念品費	1,500,000	1,299,250	200,750	入学記念品及び卒業記念品
3.総会開催費					3.総会開催費				
(1)通信費	350,000	350,000	0	総会案内状の郵送料等	(1)通信費	350,000	311,605	38,395	総会案内状の郵送料等
(2)印刷製本費	300,000	300,000	0	総会案内状・封筒制作費	(2)印刷製本費	300,000	335,370	△ 35,370	総会案内状・封筒制作費
(3)その他諸費	500,000	500,000	0		(3)その他諸費	500,000	276,345	223,655	
4.父母教育懇談会費	550,000	450,000	100,000	新入生父母教育懇談会及び 父母懇談会の経費補助	4.父母教育懇談会費	450,000	502,072	△ 52,072	新入生父母教育懇談会及び 父母懇談会の経費補助
5.役員会開催費	450,000	500,000	△ 50,000	役員会開催費用(年2回)	5.役員会開催費	500,000	323,294	176,706	役員会開催費用(年2回)
6.予備費	100,000	100,000	0		6.予備費	100,000	0	100,000	
小計	15,370,000	16,620,000	△ 1,250,000		小計	16,620,000	14,170,529	2,449,471	
次年度繰越金	6,590,181	5,747,768	842,413		次年度繰越金	5,747,768	8,389,450	△ 2,641,682	
支出の部合計	21,960,181	22,367,768	△ 407,587		支出の部合計	22,367,768	22,559,979	△ 192,211	

# 2007年度大学決算書

(2007年4月1日から2008年3月31日まで)

大阪経済法科大学

单位:千兆瓦

科 目	決算額
● 学生生徒等納付金収入	3,767,287
授業料収入	3,559,255
入学金収入	192,200
実験実習料収入	11,772
その他納付金収入	4,060
手数料収入	55,773
補助金収入	5,837
● 資産運用収入	133,496
事業収入	57,242
雑収入	15,189
その他の収入	113,821
退職給与引当特定資産からの繰入収入	57,492
建物等修繕引当特定資産からの繰入収入	39,454
● 貸付金回収収入	16,875
● 前年度繰入資金	2,178,629
収入の部合計	6,327,274

入試の検定料収入、各種証明書の発行手数料収入等です。

セミナーハウスの利用料や留学  
生宿舎の寮費収入等です。

建物等の修繕計画に基づき同特定資産を取り崩し、建物・構築物等の各種修繕を実施しています。

教員及び職員の「本俸、期末手当、その他手当並びに所定福利費等」です。

各種奨学金制度の充実により  
学生生活を支援しています。

資格試験講座の開講費用、スクールバスの運行費用等が含まれています。

学内の清掃やOAの保守メンテナンス料等が含まれています。

建物、教育研究用機器備品、図  
書の購入費等です。



「大学将来対策引当特定資産」として、大学の将来の充実・発展のために活用します。

2007年度特定資産期末残高	
退職給与引当特定資産	2,012,605
建物等減価償却引当特定資産	5,376,327
建物等修繕引当特定資産	760,106

※この2007年度大学決算書は、  
本学が予算管理目的のために設定している  
「大学の予算」の執行結果を勘定科目別に  
表示したものです。

6月29日(日)と7月6日(日)  
の二日間、東京・金沢・高松・那覇  
(6月29日)、名古屋・岡山・広島・  
高知・福岡(7月6日)の全国9

会場で、地方父母懇親会が開催され、本学会場同様、各会場では教務・修学相談、就職相談、学生生活相談などの個別相談会が実施されました。

## 父母懇談会、地方会場でも盛況に開催

### 第10回大阪経済法科大学校友会総会開催 深まる友情の絆

7月19日(土)と7月20日(日)、ホテルユーロータ二大阪で、第10回大阪経済法科大学校友会総会が開催された。当日は、全国から多くの校友が参加し、教職員・在校生を合わせた170名が会場に集まつた。

総会では、冒頭、伴井敬司校友会会長(法・1期生)

から開会の挨拶が述べられた後、藤本和貴夫学長(校友会顧問)から挨拶

を兼ねて、大学の近況報告が行われた。

続いて、「2007年事業報告及び収支決算書」、

「2008年事業報告及び収支決算書」について、

詳細な報告が行われた後、

総会に参加した各支部代表から、各支部の活動状況につ

いて報告があった。また、今年5月18日に10番目の支部として設立された三重支部の中須秀治支部



その後、中須秀治三重支部長による乾杯の音頭で懇親会が幕を開けると、旧友との久々の再会といふこともあり、同級生の輪・先輩後輩の輪・卒業生と教員の輪など、あちらこちらで和やかな懇親の光景が見られた。

しばしばの歓談の後、司会者から参加者への突撃インタビューや吹奏楽部による演奏が披露され、会場の雰囲気をより一層盛り上げてくれた。吹奏楽部による生演奏の心地よい余韻を残しつつ始まった抽選会では、液晶テレビやディナー食事券などの豪華賞品が多くの準備され、当選者が出



るたびに会場内は大きな歓声と

め息に包まれた。懇親会の最後

は恒例となつた、卒業生、在校生、

教職員全員で学歌「われらが白き

学舎」を熱唱し、和やかな雰囲気

の中、懇親会が締め括られた。



## 「ハワイ・ル・ド・レ・ポー・ト」国際交流通信

### ハワイ大学マノア校 カレッジレベルから 大学全体の 交流へと拡大

9月5日(金)、本学とハワイ大学マノア校との交流協定

調印式が、ハワイ大学マノア

校で執り行われた。今回の調印式には、藤本和貴夫学長と能塚正義学長補佐兼経済学部長が本学を代表して出席し、藤本学長とバージニア・ヒンショーヨー・ハワイ大学マノア校学長が協定に調印した。本学とハワイ大学マノア校とは、1987年以来ウイリアム・S・リチャードソン法科大学、ハワイ・アジア・太平洋研究院などカレッジレベルで協定を結び、国際学術会議の共催、研究者の派遣、英語語学研修の実施など活発に交流を進めてきた。

これまでの交流の経緯を踏まえて、ハワイ大学マノア校からのカレッジレベルの協定を大学全体との協定に格上げしようとの提案があり、今回の交流協定の調印につながった。このたびの協定締結により、これまでの交流に加えて、同校のすべての学部・カレッジへの留学が可能となり、ハワイ大学からの留学生受入など両校の交流拡大が期待できる。



協定調印後握手する藤本和貴夫学長とバージニア・ヒンショーヨー・ハワイ大学マノア校学長

### 【ハワイ大学マノア校】

ハワイ大学の本部が置かれているマノア校は、世界約80カ国、アメリカ全50州から入学した学生数18000人(留学生約1400人)を誇るハワイ州で最大の大学。英語教授法(第二言語としての英語研究)では全米1位を誇り、語学、言語学、海洋研究、遺伝学などハワイの特徴を活かした学問も非常に盛んで、87の学部専攻、89の修士専攻、57の博士専攻プログラムがあり、どの専攻もアジア太平洋地域に焦点を置いている。ハワイ州の州都であるオアフ島のホノルルに位置している。



2010年卒

## 就職活動動戦線の幕開け

### 売り手市場の転換

この数年間、景気の上昇が続き、大卒の求人倍率も順調に伸びていたが、2007年来の原油価格の高騰、小麦粉を始めとする食料や各原材料の「ストップアップ」、アメリカ経済の後退などにより全体として下降局面を迎えていた。

政府月例経済報告では、「景気は、弱まっている。先行きについては、当面、世界経済が減速するなかで、下向きの動きが続くとみられる。加えて、アメリカ・欧州における金融危機の深刻化や景気の一層の下振れ懸念、株式・為替市場の大幅な変動などから、景気の状況がさらに厳しいものとなるリスクが存在することに留意する必要がある」との判断を示し、雇用情勢についても「悪化しつつある」と同様に厳しい認識を示している。

現在の4年生の就職内定報告状況は、景気の上昇局面での雇用計画が反映されしており、昨年度卒業生とほぼ同様に推移している。(主な就職内定状況参考)しか

### 3年生は事実上就職活動の本番に突入

このような状況のもとで、企業はより一層採用活動を早める傾向にあり、大手企業を中心とした12月から会社説明会のエントリー受け付けが始まる予定である。本学では、去る6月から3年生を対象とする就職支援の準備編(ガイドライン・セ

## 2008年度就職内定状況 (2008年9月末現在)

国家公務員II種(1名)、警察官(6名)、消防官(4名)、自衛官(1名)  
JR西日本(株)、JR東日本(株)、(株)西日本シティ銀行、(株)南都銀行、みずほインベスタート証券(株)、りそなホールディングス(株)、大東建託(株)、大和ハウス工業(株)、住友不動産販売(株)、日本通運(株)、(株)サカイ引越センター、はるやま商事(株)、(株)サークルKサンクス、(株)コジマ、(株)上新電機、(株)スギ薬局、セコム(株)、綜合警備保障(株) 他多数

### 企業環境の変化に伴う雇用面での新たな動き

一方、企業戦略の新しい概念として「ダイバーシティ・マネージメント」(多様化への対応)が雇用面においても現れており、若年労働人口の絶対数の減少に伴い、女性の雇用を積極的に行なう企業も増えつつある。企業の国際化・消費者一人づの多様化に加え雇用面でもその処遇を含めて多様化が一層進展している。

### ~3年生の希望進路・就職に向けた活動が本格化~

中国・遼寧大学 創立60周年記念式典 本学代表が出席 深めてきた。今回の記念式典出席を機に、今後、両校の交流が一層発展することが期待できる。

中国・上海で 海外フィールドスター デイーを実施 経済学部海外連携科目として実施されている「海外フィールドスター(デイー)」が、去る9月7日(日)から16日(火)までの10日間、本学の協定校の復旦大学を拠点にして実施された。

9月15日(月)・16日(火)に、

中国の遼寧大学(遼寧省瀋陽市)で開催された創立60周年記念式典に、本学を代表して高博学長補佐(国際交流委員会委員長)、襄龍国際部事務長の2名が出席した。

本学と遼寧大学は、1998年4月に協定を締結し、国際シンポジウムの共催、交換留学生ならびに研究者の相互交流など、様々な形で交流を

9月15日(月)・16日(火)に、中国の遼寧大学(遼寧省瀋陽市)で開催された創立60周年記念式典に、本学を代表して高博学長補佐(国際交流委員会委員長)、襄龍国際部事務長の2名が出席した。

本学と遼寧大学は、1998年4月に協定を締結し、国際シンポジウムの共催、交換留学生ならびに研究者の相互

9月15日(月)・16日(火)に、中国の遼寧大学(遼寧省瀋陽市)で開催された創立60周年記念式典に、本学を代表して高博学長補佐(国際交流委員会委員長)、襄龍国際部事務長の2名が出席した。



## 2008 インターンシップ報告

### 証券会社での インターンシップを 通じて学んだこと

派遣先・野村證券株  
(8/11~8/15)  
経済学部3年  
木田 阳山さん



今回、私は「野村證券なんば支店」でインターンシップをさせていただきました。

私が証券会社へのインターンシップを希望した理由は、大学のゼミなどの授業を通じて「株式」について学び、また、正課授業以外で「ファイナンシャル・プランニング」2級の資格取得に向けた勉強もあり、「金融」というものに興味を持ち、それらを扱っている証券会社の業務を体験したいと考えたからです。

証券会社でインターンシップをすると、いつまでも飽きることなく聞くことができる。合わせを行い、社員がポイントを解説し、その記事を元にその日の日経平均株価の動向とその理由を考察しました。学生も日々を追うごとに読み込む力がついてきたと実感できるものでした。また、支店内の各部署を見学し、社員に業務内容について直接質問していただきました。さらに、大阪証券取引所と、支店のバックオフィス業務を行う系列会社を訪問し、金融市场の機能や証券会社の業務を実際に見ていただきました。

最終日には、5日間の集大成として、当社社員になつたつもりでお客様への提案書をグループで討議・作成し、プレゼンテーション及び質疑応答を行いました。5日間といつ短い実習期間にもかかわらず、全グループが活発に議論を行い、良い意味で期待を裏切るような高いレベルの提案書が完成いたしました。

全期間を通して、多くの社員が講義を担当しでできるだけ様々な社員と接するようプログラムを構成しました。若手社員からは、就職活動の経験談、社会人についてからの心構えの変化、現在取り組んでいる業務等について話しました。年齢が近い社員の話は、非常に参考になりました。また、ベテランの社員からは、今後の日本経済の担い手としての期待を込めた「働く」意義に関する講義を行いました。また、グループワークを随所に取り入れたことにより、他大学の学生

じ内容でも飽きることなく聞くことができました。NBSは、野村證券のバックオフィスとして事務処理などを正確に遂行することで野村證券を支えており、自分の仕事が野村證券に直接影響するので、社員一人ひとりが自分の仕事を責任と誇りを持って、働いていることにとても感心しました。



最終日には、5日間の集大成として、当社社員になつたつもりでお客様への提案書をグループで討議・作成し、プレゼンテーション及び質疑応答を行いました。この記事を元にその日の日経平均株価の動向とその理由を考察しました。学生も日々を追うごとに読み込む力がついてきたと実感できるものでした。また、支店内の各部署を見学し、社員に業務内容について直接質問していただきました。さらに、大阪証券取引所と、支店のバックオフィス業務を行う系列会社を訪問し、金融市场の機能や証券会社の業務を実際に見ていただきました。

今年4月に竣工した本学阪南キャンパスにおいて、8月9日(土)~10日(日)の1泊2日の日程で、「キャリア開発特別講座」合宿が行われた。

1日目は、講師の指導により、面接試験のトレーニングの二環として、①自己PR(自己分析をして、自分のアピールポイントをピックアップ)②学生生活について(大学生活を振り返る)③志望動機(企業研究)などについて、実践的な履歴書の書き方講習と添削指導が行われた。

夕食後の懇親会では、4年生の先輩たちと講師スタッフの就職活動体験談が熱く語られ、受講生は、貴重なアドバイスに熱心に耳を傾けていた。

2日目には、グループディスカッション、集団面接、個人面接などについて実践的な模擬面接指導が行われ、真剣な

との交流を通じて様々な気付きを得られた学生も多く見受けられました。この機会を自分のために活かそうといつ姿勢で明るく積極的に取り組む学生が多く、それぞれが自分なりに経済についての理解を深めたり、「働く」ことについて考え方を聞ける楽しさを学べたと思します。

私は、今回のインターンシップを通じて、証券会社で働くことの大変さや証券に関するNBSや大阪証券取引所、証券情報室など、色々な視点から証券や株式を知ることができました。今回の経験は、これから就職活動をしていく中で、様々な観点から物事や自分を見直すいい機会になったと思います。5日間という短い期間でしたが担当者やなんば支店の方々、多くから話を聞くことができたので、同じく話をすることができたので、本当にありがとうございました。

このたび、野村證券株式会社なんば支店では「金融市場がどのように社会に貢献しているかを探る」、「働く」ということの如何なるものかを探る」をテーマに、インターンシップを実施しました。まず初日は、オリエンテーションの後、当社の紹介ビデオを視聴し、気付いた点・疑問点をグループに分かれ共に、社員より疑問点の解消を行い、当社への理解を深めました。また、証券会社の役割を学ぶため株式・債券・投資信託の基礎及び起業についての講義を行い、金融への理解を深めました。また、証券会社の役割を学ぶため株式・債券・投資信託の基礎及び起業についての講義を行ったが、履歴書作成、面接についても多かったようですが、皆熱心に取り組んでいたが、担当者やなんば支店の方々、

じ内容でも飽きることなく聞くことができる。それに、就職課の皆さん、本当にありがとうございました。

### 平成20年度 インターンシップ プログラムについて

野村證券株  
なんば支店  
ウエルスマネジメント課  
白木 美菜子氏

企業での就労体験と職業選択の動機付けを目的とした、2008年度インターンシップが夏期休暇中に実施された。今回、野村證券で行われたインターンシップについて参加学生および企業担当者の声を掲載する。

元気いっぱい!  
躍動する  
経法生

大学での  
出会いと学びが、  
私を成長させて  
くれました。

岡本 香菜子さん  
法学部・4年生

南都銀行(株)内定



### 人ととの出会いと経験で、たくさんのことを学び成長

大学生活では、吹奏楽部での課外活動が、自分の中でも一番の思い出として残っています。特に、音楽系クラブの学生たちが主体となり開催している音楽祭や学外でのコンサートなどで、たくさんの友人やイベント関係者と出会い、一緒に企画を考え、打合せをしていく過程を通じて、大学に入学する前とは比べものにならないくらい人の接し方やものの見方・考え方方が成長しました。

また、吹奏楽部の部長という立場から、部員や他のクラブと接することで、互いに理解し合うことの難しさや人によって考え方方が違うということを直接肌で感じ、本当に貴重な経験をすることができました。

いま4年間という大学生活を振り返ると、全てのことを自分一人ではなく、周囲とともに一緒に学んで来ただんだと強く感じています。

### お客様から信頼される銀行員に

就職活動では、自分のアピールポイントを探すのに一番苦労しました。自分では、自分のことを知っているつもりでいたのですが、いざ自分のアピールポイントを考えてみたときに、なかなか見つけることができませんでした。いろんな本なども見たのですが、本に書かれていることを参考にしても仕方な

いと思い、吹奏楽部で得た経験など、自分がいま自信を持って言えることをそのまま相手に伝えようと考えました。南都銀行に採用が内定したのも、そのように考えたのが良かったのかもしれません。

いよいよ来春からは、新たな人生の第一歩を踏み出すことになります。お客様一人ひとりとの関係・出会いを大切にし、一日も早く、周りから信頼される銀行員になりたいと思います。

### 積極的なチャレンジが、自己実現への第一歩

いまの私があるのは、大学の友人や仲間、先生方との出会いがあったからだと実感しています。目一杯好きに活動する場があったからこそ、そう感じることができたと思います。

いま、自分がやりたいこと、やってみたいことを行動に移すこと、それがいつか自分自身の経験になり、成長につながるはずです。諦めることは簡単ですが、やり通すことは本当に難しいと思います。経法大の学生だからこそ、できることがあります。何事も前向きな気持ちでチャレンジし、自分の手で、自分の夢を掴み取ってください。



### 編集 後記

本学では今年度、環境保全活動の一環として、「河内木綿」の栽培を行っています。今回の取り組みは、河内木綿の復活にむけて普及活動をしている、八尾市立歴史民俗資料館の協力により実現したもののです。

5月に300鉢分の綿の種をまき、6月半ばに苗を定植しました。9月中旬から収穫された真っ白な綿は、種取り、綿打ち、糸紡ぎ、機織りという手順で、一枚の布になる予定です。